



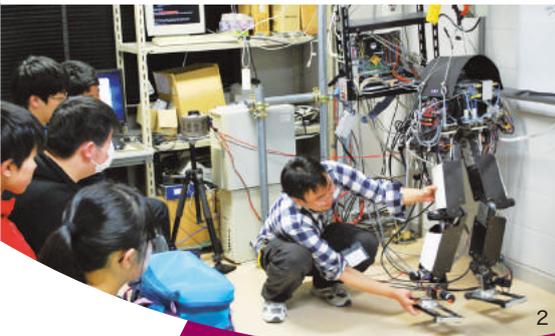
Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

Volume

46

平成30年7月31日



発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課
千歳市美々 758 番地 65
TEL.0123-27-6001
ホームページ www.chitose.ac.jp

- 1. 夢ナビライブ2018(3ページ)
- 2. オープンキャンパスの様子(6ページ)
- 3. オープンサイエンスパーク千歳(4ページ)
- 4. 平成30年度入学式(2ページ)



公立化の動き

千歳科学技術大学 学長

川瀬 正明

昨年夏の学報で大学改革の動き～公立大学法人化の検討に関する要望書を千歳市へ提出～について紹介しましたので、その後の状況について説明します。

本学の要望を受けて千歳市は、公立化に関する有識者会議を設置し、その審議結果を受けて、昨年10月に山口市長が本学の公立化を進める旨の表明をされました。さらに千歳市議会に公立化に関する調査特別委員会を設置し、我々も参考人として意見を述べる機会をいただき、審議の結果本年3月に市議会において本学の公立化を是とする報告がなされました。

以上の経緯を経て、本学の公立大学法人化の大きな流れが形成され、新聞等マスコミに報道された効果もあり、本年春の入試では1,200人を超える過去最多の志願者数となりました。その後のオープンキャンパスの入場者数も前年の約2倍となっています。

「公立大学」ブランドの価値を改めて認識させられる結果となっていますが、これらは直接本学への期待と言うより他の平均的な公立大学のイメージがベースになっているものと考えられます。

本学の大学改革の基本は経営形態の変更に加えて、教育改革と地域貢献の3つの柱で構成しており、経営形態の変更は今後公立大学法人の設立に向けて市の公立大学法人化担当が進めますが、教育改革と地域貢献のシナリオは大学が主体で進めることとなります。教育改革の主体は文科省補助事業「大学教育再生加速プログラム」による「質保証に定める教育システム」の確立を目指し、特に専門分野にかかわらず共通基盤教育として教情報系教育の強化を予定しています。また、本プログラムの検討にもとづき、入学・教育・卒業認定にかかわる3つの基本ポリシーを昨年春に改訂しています。

基礎的な学力では卒業生のアンケート調査で指摘の多かった言語リテラシーの充実をはじめ、主体性・自律性、チームとして活動する力を高めるために、アクティブラーニングを積極的に取り入れた教育を強化することとし、改革実現のための教育体制、施設の充実を図る予定です。地域貢献では、地域の文化・知的拠点を目指し、大学の人材と知恵を地域のニーズとマッチングをとる取組“Smart Nature Cityちとせ”を提案しています。

公立大学法人化の動きや、改革の内容は大学のホームページに特設ページを設けて随時発信しておりますのであわせてご覧いただければ幸いです。

今後、教育・研究に基づく人材育成と地域貢献の両面で長く持続できる公立大学を目指して改革を進めて参りますので、忌憚のない意見をお願い申し上げます。

平成30年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行了しました

4月7日(土)、本学講堂において平成30年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行し、理工学部281名、大学院光科学研究科10名、計291名が新たな一歩を踏み出しました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多くの来賓・保護者のご臨席を賜り、午前10時から始めました。式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の郡司凌大さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式の終了後は、保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。山中明生学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学修、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



トピックス

文科省ナノテク事業分子・物質合成プラットフォーム 平成30年度シンポジウムを開催しました

6月2日(土)、B101大講義室において「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業 分子・物質合成プラットフォーム平成30年度シンポジウム」が開催され、他大学や市内外の企業等から約100名超の研究者、学生、市民が参加されました。

プログラムは、ナノテクノロジープラットフォーム プログラムディレクターである佐藤勝昭先生のご挨拶から始まり、各実施機関の利用者10名の口頭発表、23件のポスター発表が行われました。14:30~15:30には2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木章北大名誉教授の「有機ホウ素化合物を用いるクロス・カップリング反応」と題する招待講演が行われました。最初に科技大ナノテクノロジープラットフォームの代表責任者であるオラフ・カートハウス教授から鈴木先生の経歴紹介がありました。その後、鈴木先生のご講演は、数学が得意だった先生が有機化学の書籍との出会いから化学の研究に入られたこと、アメリカ留学でノーベル化学賞の受賞理由となった鈴木カップリング反応開発のきっかけを得られたこと、ご研究は医薬開発等に広く応用されていること等、ご専門について分かりやすくお話いただきました。専門のお話のみならず、若者に「失敗を恐れるな」といった人生訓についてもお話いただきました。講演後は出席者からの質問も受けいただき、複数の科技大生が貴重な機会を捉えて質問していました。本学の学生たちに一生の思い出となるような貴重なお話をしていただき、お礼申し上げます。

※文部科学省の「ナノテクノロジープラットフォーム」事業は、最先端の研究設備を有する全国の大学、研究機関が設備の共同利用を通じて産業界や研究現場の技術的課題の解決を目指すものです。千歳科学技術大学は、3つの事業のうち分子・物質合成プラットフォームに所属しています。



夢ナビライブ2018東京会場に 参加しました

7月14日(土)東京ビッグサイトで開催された高校生を対象とした「夢ナビライブ2018」に参加しました。「夢ナビライブ」は、学びたい学問を見つけ、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になる事を担当者に直接質問したり、大学について説明をうけたりすることができ、極めたい学問の発見から学べる大学との出会いまでを一度に体験できるまとまったチャンスのイベントです。当日は50,164名の来場者がありました。 本学からは、応用化学生物学科 オラフ・カートハウス教授、坂井賢一准教授の2名の先生が講演を行い、大勢の受講者が集まりました。また、本学の相談ブースにも多くの高校生や保護者が来訪し、熱心に本学の魅力や特徴について説明を受けたり、質問をしたりしていました。



千歳版環境マネジメントシステム 「ECOちとせ」に認定されました

本学は、昨年度における電力量やLPG量の削減などの環境にやさしい取り組みが、千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」の審査基準に適合していることが認められ、千歳市より認定証(継続認定)が交付されました。

認定証の有効期間は、平成30年7月1日から平成31年6月30日までとなります。

今年度も環境にやさしい取り組みを継続し、「ECOちとせ」認定期間の更新を目指します。



平成30年度慶応工学会給費奨学生に 採用されました

大学院生の徳光聖茄さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 長谷川研究室所属)が、平成30年度一般財団法人慶応工学会給費奨学生に採用されました。

7月31日(火)本学において給費奨学生の伝達式を執り行い、川瀬正明学長より給費奨学金授与証書を授与いただきました。この奨学金制度は全国の理工系大学院生から募集され、奨学生として採用されると年額36万円を1ヵ年支給されます。

採用された徳光さんから研究により力を入れていきたいと抱負が語られました。



平成30年度在学生特待生 認定通知書授与式を行いました

5月24日(木)、平成30年度在学生特待生認定通知書授与式を行いました。

在学生対象特待生制度は平成26年度に創設された制度で、学部3年生及び4年生の各学科の成績優秀者1名を特待生として認定し、授業料等の減免を行うものです。

認定式では川瀬正明学長から認定通知書が手渡された後、激励の言葉が贈られました。



2019年度版大学案内(パンフレット)完成のお知らせ

このたび、新しく2019年度版「大学案内」が完成しました。今回は、巻頭特集で本学の教育、研究、地域貢献をテーマとし「科技大×教育」、「科技大×研究」「科技大×地域」を掲載しております。また、学部・学科紹介や就職支援、キャンパスライフについてのページなど、科技大の情報が満載です。大学や学科選び、将来について考える際に、ぜひご活用ください。



2018年度第1回光テクノロジー応用懇談会を開催しました

7月20日(金)、千歳アルカディア・プラザ 1階多目的ホールにおいて、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)が主催する講演会が開催され、本学から山中明生学部長ほか2名の方が講演しました。当日は、市内外から30名の市民の皆様が来場し、各専門分野のお話を熱心に聞いておりました。

希土類酸化物の結晶成長と光部品への展開

千歳科学技術大学 理工学部
学部長 山中 明生教授

新規レーザー光技術を用いた光学顕微鏡による細胞整理のイメージング

北海道大学 電子科学研究所 生命科学研究部門
光細胞生理研究分野
教授 根本 知己氏

会社紹介

京セミ株式会社 営業本部 営業開発部
部長代理 川井 敏生氏



オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにすごい!! 身近な生き物たちを開催しました

7月30日(月)、31日(火)に「オープンサイエンスパーク千歳～こんなにすごい!!身近な生き物たち」が開催されました。

30日は市内小中学生5名を含む総勢19名が参加し、サケのふるさと千歳水族館の学習室で講演会が行われました。千歳水族館の菊池基弘館長、旭川医科大学の室崎喬之先生、北海道大学総合博物館の大原昌宏先生から様々な生物の生態についてお話をいただいた後、本学の応用化学生物学科 平井悠司専任講師による超撥水性や超親水性などに関する講義と体験実験を行いました。講義の合間には千歳水族館内のバックヤード見学、魚の餌やり体験も行われ、生物の仕組みなどについて学びました。

31日は天候にも恵まれ、小中学生8名を含む総勢23名が参加して千歳科学技術大学研究棟周辺や千歳湖などで昆虫採集を行いました。千歳湖周辺には事前に国立科学博物館の野村先生や本学昆虫研究会のメンバーが予めトラップを仕掛けており、ノコギリクワガタやアオコガネムシ、ハネカクシなどが採集されました。その後は、大学設備である電子顕微鏡や実体顕微鏡、虫眼鏡で昆虫の表面を見比べてみたりしながら観察しました。参加した小中学生はたくさんの昆虫を持ち帰ることができました。



恵庭中学校と早来中学校の生徒さんが 本学を見学しました

7月5日(木)午前は、恵庭市立恵庭中学校の3年生40名が「進路学習」の一環で本学を見学しました。はじめに、本学の電子光工学科 長谷川誠教授と本学理工工場の皆さんにより、大学の紹介と理科実験講義を受けました。理系に興味のある皆さんということで、「理科をこれから勉強していくのに、コツはありますか?」など積極的に質問していました。そのあと、3班に分かれ、研究室を見学したり、本学学生の地域での活動について紹介を受けました。

また、午後には安平町立早来中学校の1年生32名の皆さんが「総合的な学習の時間」の一環で本学を見学しました。はじめに、大学らしい大きな階段教室で記念撮影をしたあと、食堂で昼食をとりました。そのあとは研究実験棟に移動し、午前引き続き、長谷川教授と理工工場の皆さんによる理科実験講義を受けました。



研究室見学の様子

偏光フィルムを使って作成した万華鏡を見ている様子



公開講座を開催しました

2018年度の公開講座(第1回、第2回)を以下のとおり開催しました。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

第1回公開講座

今年度第1回目の公開講座では、主に太陽光エネルギーについて、情報システム工学科 吉田淳一教授自身がこれまで行ってきた実験や、最近のトレンドなどについて、太陽光パネルの模型を用いるなどして詳しく解説されました。また、たくさんの方が質問やご自身の意見を発言され、理解を深められていました。参加者からは、「自然エネルギーの活用について可能性を感じました」など感想をいただきました。



- 日程:6月9日(土)14:30~16:30
- 場所:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)3階 視聴覚室
- 演題:「スマートネイチャーシティちとせのクリーンエネルギー技術—太陽電池パネルの賢い使い方—」
- 講師:千歳科学技術大学 情報システム工学科 教授 吉田 淳一
- 参加者数:37名

第2回公開講座

第2回は、非接触型IC乗車券のような数mm単位の短い距離のものから、185億km以上離れた人工衛星とのものまで多種多様な通信技術について、電子光工学科 佐々木慎也教授が解説されました。また、最先端の通信技術の紹介や、これからの通信技術の可能性についてお話がされました。参加者からは、「通信技術の進化の目まぐるしさに驚かされました」など感想をいただきました。



- 日程:7月28日(土)14:30~16:30
- 場所:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)3階 視聴覚室
- 演題:「多種多様な通信システム~光通信から無線通信まで~」
- 講師:千歳科学技術大学 電子光工学科 教授 佐々木 慎也
- 参加者数:26名

2018年度eカレッジ講習会とプログラミング教室を開催しました

千歳市教育委員会が窓口となり実施している「eカレッジ」事業では、千歳市内小中学校の生徒を対象に、本学で開発している「eラーニング(電子学習)システム」の利用を推進しています。6月17日(日)、今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生(希望者)と保護者を対象に、このシステムの使用方法などについて解説する「eカレッジ講習会」を本学で実施しました。

当日は、12人の小学生とその保護者や兄弟などが参加しました。はじめに、パスワードなどを入力し、システムにログイン。算数や理科の教材を実際に試しながら、使い方を覚えていました。これからは家庭学習などにeラーニングシステムを大いに活用していただきたいと思います。また、eカレッジ講習会終了後、希望者に対し「プログラミング教室」を実施しました。こちらにも、小学生とその保護者および兄弟合わせて17名が参加くださいました。BBC micro:bit という、プログラミングで動かせる小さなコンピュータを使用し、コンピューティングやプログラミングの概念(順次、イベント、反復、センシング、変数)を体験する内容でしたが、みなさん苦労しながらも、少しずつ難しくなっていく課題をクリアしていきました。中には、自分ひとりでどんどん難しい課題にチャレンジしていくお子さんもみられました。

- 日程:6月17日(土)13:00~16:00
- 場所:千歳科学技術大学 G201(コンピュータ教室)
- 講師:千歳科学技術大学 情報システム工学科 専任講師 山川 広人
- 対象:今年度eカレッジの利用申し込みをした小中学生とその保護者



台湾の高校生が本学を見学しました

7月2日(月)、台湾の台北市立中正高級中学(高等学校)の生徒23名と引率者4名が5泊6日の日程で来道し、北海道の自然や歴史に触れました。その一環として本学の見学に訪れました。

本学では、大学の概要や学生の様子などについて説明を受けたあと、電子光工学科 長谷川誠教授と本学理工工房の皆さんによる理科実験講義を受けました。皆さん大変礼儀正しく、熱心に説明や講義に聞き入っていました。同校が本学に訪れるのは、昨年に続いて2回目となります。

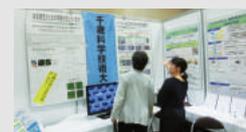


北洋ものづくりテクノフェア2018に出展しました

7月26日(木)、アクセスサポロにて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2018」に出展し、本学で行っている「ナノテクノロジープラットフォーム事業」の紹介を行いました。

ナノテクノロジープラットフォーム事業とは、文部科学省にて2012年度より開始された事業で、本学ではその中の分子・物質合成プラットフォームとして、施設や装置の利用に留まらず、合成に関するノウハウの提供、データ解析等を含め、全国の産学官の研究者に対して支援を行っています。

フェア当日は、出展者(238社・団体)、来場者(約4,800名)ともに過去最多となり、本学のブースへも多数の方々が立ち寄りくださいました。



下村先生が高分子科学功績賞、 平井先生が高分子研究奨励賞を受賞しました

理工学部応用化学生物学科の下村政嗣教授が「高分子科学功績賞」を受賞しました。

この賞は、高分子基礎科学および応用化学の発展の為に、多年にわたって顕著な業績を挙げたものに授与し、その功績に報いると共に、高分子科学の普及啓発に資し、その水準の向上に寄与することを目的としています。

また、理工学部応用化学生物学科の平井悠司専任講師が「高分子研究奨励賞」を受賞しました。

この賞は、高分子若手研究者の活発な研究を奨励すると共に、将来、高分子科学の発展の為に貢献する人材を育成することを目的としています。

■受賞研究テーマ：
バイオメテック微細構造の作製と機能評価

■受賞者：平井悠司

授賞式は5月23日(水)～25日(金)に名古屋国際会議場(名古屋市)で開催された第67回高分子学会年次大会の中で執り行われました。



日本バイオマテリアル学会北海道ブロックの ポスター賞を受賞しました

大学院生の兼平裕也さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程2年 木村研究室所属)が、日本バイオマテリアル学会北海道ブロック第3回研究会でポスター賞を受賞しました。この賞は極めて優秀なポスター発表に対して贈られるものです。

■タイトル：喫煙に伴う骨の劣化

■演者：兼平裕也1、植野秀俊1、久保薫2、友田恒一2、木村弘2、木村・須田廣美1(1千歳科学技術大学大学院、2奈良県立医科大学医学部)



軟式野球部が春季大会で 3部リーグ優勝しました

軟式野球部が春季大会にて4試合3勝1敗で3部リーグ優勝し、これにより千歳科学技術大学軟式野球部史上初の2部リーグへの昇格が決まりました。

入試情報

各地で進学相談会・出張講座を 行っています

本学における学びの内容等を高校生に伝えるため、例年各地で開催されている進学相談会に参加しています。2018年4月から7月までの間に、道内外の70を超える会場へ参加し、約800名の来場者に本学の魅力を紹介しました。

また、大学での学びを知ってもらうために、高等学校等に本学教員が訪問して講義を行う出張講座も実施しています。講座は、「化学分野」「生物分野」「電気・電子分野」「情報分野」の各分野の講義または理工系の大学での学びを紹介する「進学ガイダンス」から希望する内容で実施しており、2018年4月から7月までの間に延べ16回の出張講座を実施しました。



2018年度第1回オープンキャンパスを 開催しました

6月17日(日)、本年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。当日は、近郊、道内各地ならびに道外からもご参加いただき、多くの参加者で賑わいました。

オープンキャンパスでは、学生スタッフが参加者の皆さんを笑顔でお出迎え。フリートークやランチタイムには、皆さんの質問に学生スタッフが本音でお答えし、リラックスした雰囲気での交流を深めました。また、高校3年生等の今年度受験生を対象に、「体験型入試(AO)・推薦入試説明会」が開催され、参加された受験生はそれぞれの入試制度の特徴や、お願までの流れなどの説明に、熱心に耳を傾けていました。その他、研究室見学や模擬講義、アトリウムイベント等が開催され、科学と科技大の魅力を存分に感じて頂けるオープンキャンパスとなりました。



オープンキャンパス
今後の予定

10/7(日)

入試に関するお問い合わせ/入試課
TEL:0123(27)6011 FAX:0123(27)6076
E-MAIL:nyushi@photon.chitose.ac.jp

財務情報

貸借対照表

平成30年3月31日

(資産の部) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,362,527	9,437,737	△ 75,210
有形固定資産	5,631,216	5,676,428	△ 45,212
特定資産	3,725,901	3,758,957	△ 33,056
その他の固定資産	5,410	2,352	3,058
流動資産	1,261,218	1,219,943	41,275
資産の部合計	10,623,745	10,657,680	△ 33,935

(負債の部) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	143,971	131,366	12,605
流動負債	412,595	311,063	101,532
負債の部合計	556,566	442,429	114,137

(純資産の部) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	10,961,427	11,071,600	△ 110,173
第1号基本金	10,847,630	10,957,803	△ 110,173
第4号基本金	113,797	113,797	0
繰越収支差額	△ 894,248	△ 856,349	△ 37,899
純資産の部合計	10,067,179	10,215,251	△ 148,072
負債及び純資産の部合計	10,623,745	10,657,680	△ 33,935

活動区分資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
収入		収入	
学生生徒等納付金収入	1,018,972	退職給与引当特定資産取崩収入	8,895
手数料収入	23,482	研究特定資産取崩収入	4,678
特別寄付金収入	6,475	預り金受入収入	225,127
経常費等補助金収入	208,390	立替金回収収入	24
付随事業収入	63,058	小計	238,724
雑収入	13,269	受取利息・配当金収入	37,392
教育活動資金収入計	1,333,646	過年度修正収入	0
支出		その他の活動資金収入計	276,116
人件費支出	756,686	退職給与引当特定資産繰入支出	21,499
教育研究経費支出	421,110	研究特定資産繰入支出	1,923
管理経費支出	169,326	預り金支払支出	255,356
教育活動資金支出計	1,347,122	立替金支払支出	24
差引	△ 13,476	小計	278,802
調整勘定等	72,141	過年度修正支出	0
教育活動資金収支差額	58,665	その他の活動資金支出計	278,802
施設整備等活動による資金収支		差引	△ 2,686
施設設備寄付金収入	15	調整勘定等	0
施設設備補助金収入	0	その他の活動資金収支差額	△ 2,686
減価償却引当特定資産売却収入	193,152	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	81,868
減価償却引当特定資産取崩収入	298,017	前年度繰越支払資金	1,146,442
施設整備等活動資金収入計	491,184	翌年度繰越支払資金	1,228,310
施設関係支出	6,351		
設備関係支出	98,758		
減価償却引当特定資産繰入支出	452,647		
施設整備等活動資金支出計	557,756		
差引	△ 66,572		
調整勘定等	92,461		
施設整備等活動資金収支差額	25,889		
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	84,554		

事業活動収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

当該会計年度における「事業活動収入」及び「事業活動支出」の均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,039,026	1,018,972	20,054
手数料	12,573	23,482	△ 10,909
寄付金	8,000	6,475	1,525
経常費等補助金	199,660	208,390	△ 8,730
国庫補助金	199,590	208,316	△ 8,726
地方公共団体補助金	70	74	△ 4
付随事業収入	53,746	63,058	△ 9,312
雑収入	7,908	13,269	△ 5,361
教育活動収入計	1,320,913	1,333,646	△ 12,733
事業活動支出の部			
人件費	782,378	769,290	13,088
教育研究経費(内減価償却額)	554,507	555,781	△ 1,274
管理経費(内減価償却額)	188,202	188,774	△ 572
徴収不能額等	15,203	19,448	△ 4,245
徴収不能額等	0	7,752	△ 7,752
教育活動支出計	1,525,087	1,521,597	3,490
教育活動収支差額	△ 204,174	△ 187,951	△ 16,223
教育活動外収入の部			
受取利息・配当金	30,500	37,392	△ 6,892
教育活動外収入計	30,500	37,392	△ 6,892
教育活動外支出の部			
借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	30,500	37,392	△ 6,892
経常収支差額	△ 173,674	△ 150,558	△ 23,115
特別収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	7,147	△ 7,147
特別収入計	0	7,147	△ 7,147
特別支出の部			
資産処分差額	0	4,661	△ 4,661
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	4,661	△ 4,661
特別収支差額	0	2,486	△ 2,486
予備費	(3,161)		11,839
基本金組入前当年度収支差額	△ 185,513	△ 148,072	△ 37,441
基本金組入額合計	△ 23,641	0	△ 23,641
当年度収支差額	△ 209,154	△ 148,072	△ 61,082
前年度繰越収支差額	△ 856,349	△ 856,349	0
基本金取崩額	0	110,173	△ 110,173
翌年度繰越収支差額	△ 1,065,503	△ 894,248	△ 171,255

資金収支計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

(収入の部) (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,039,026	1,018,972	20,054
手数料収入	12,573	23,482	△ 10,909
寄付金収入	8,000	6,490	1,510
補助金収入	199,660	208,390	△ 8,730
国庫補助金収入	199,590	208,316	△ 8,726
地方公共団体補助金収入	70	74	△ 4
資産売却収入	0	193,152	△ 193,152
付随事業・収益事業収入	53,746	63,058	△ 9,312
受取利息・配当金収入	30,500	37,392	△ 6,892
雑収入	7,908	13,269	△ 5,361
前受金収入	164,835	257,495	△ 92,660
その他の収入	541,835	589,128	△ 47,293
資金収入調整勘定	△ 196,520	△ 222,526	26,006
当期資金収入合計	1,861,563	2,188,302	△ 326,739
前年度繰越支払資金	1,146,443	1,146,443	
収入の部合計	3,008,006	3,334,745	△ 326,739

(支出の部) (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	764,397	756,686	7,711
教育研究経費支出	419,099	421,110	△ 2,011
管理経費支出	172,999	169,326	3,673
施設関係支出	5,000	6,351	△ 1,351
設備関係支出	115,130	98,758	16,372
資産運用支出	194,786	476,070	△ 281,284
その他の支出	320,385	322,606	△ 2,221
予備費	(5,450)		14,550
資金支出調整勘定	△ 82,911	△ 144,472	61,561
当期資金支出合計	1,923,435	2,106,435	△ 183,000
翌年度繰越支払資金	1,084,571	1,228,310	△ 143,739
支出の部合計	3,008,006	3,334,745	△ 326,739

本学同窓会より課外活動奨励金が贈呈されました

4月25日(水)に千歳科学技術大学同窓会を代表して金野徹会長と田名網孝介副会長が来訪され、課外活動奨励金として4団体に計20万円を授与いただきました。

課外活動奨励金は、部活動の活性化や本学の知名度向上等に寄与している団体の活動を経済的に支援することを主な目的として、今後の活動への期待も込めて贈られました。

奨励金を授与された団体は次のとおりです。

- 理工工房
- ライトアート工房
- 菜園サークル
- YOSAKOIソーラン部



2018年度千歳科学技術大学父母懇談会を開催します

本年度も学修、就職支援などの本学における取り組みや状況について説明させていただくとともに、個別相談などを通じて、本学へのご理解を一層深めていただくことを目的として父母懇談会を開催いたします。

午前は全体説明会や学修・研究成果、または就職支援会社による講演のいずれかを選択していただき、午後からは学修・生活・就職に関する個別相談、内定学生による就職活動体験報告会にご参加いただけます。皆様のご出席をお待ちしております。

なお、父母の皆様には別途、ご案内文書を郵送しております。

- 日時:平成30年10月13日(土)10:00~16:00(※9:00受付開始)
- 場所:本学 本部棟 ■対象:全学年の保護者

父母懇談会に関するお問い合わせ

学生支援課学生係 TEL:0123-27-6170 FAX:0123-27-6128
E-MAIL:gakusei@photon.chitose.ac.jp



大学公式!

TwitterとInstagramで
情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。ときどきミニ・カーギーと学外に飛び出して学生の活動をご紹介しますりもしています。

Twitter, Instagram どちらもIDは@cistkohoで検索ください。

?カーギーとは?

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田(かぎた)ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギース」というユニットを組み、科学の疑問を探索すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげる事も多い。



Twitter



Instagram

千歳光科学国際フォーラム(CIF19)の開催について

今回のフォーラムでは、初日は千歳タウンプラザ「まちライブラリー」にて、「新しいまちづくりの発想」をコンセプトに、地域への定住化や新しい産業の振興等について、この分野での著名な有識者による「特別講演」と、市民と講演者による「パネル討論会」を開催し、魅力あるまちづくりとは?という問いに対して市民の皆さんと一緒に考える機会を提供することとしています。また、2日目には、会場を千歳科学技術大学に移し、多様な情報通信技術の研究者を招聘し、最新の情報通信技術ならびにそれを活用した持続的な地域発展・環境保護への適用に関する研究成果を発表していただく予定となっております。初日の特別講演ならびにパネル討論会への参加は無料となっておりますので、是非お越しください。

■日時:平成30年10月21日(日) 13:00~17:30
10月22日(月) 10:00~17:00

■会場:10月21日(日) 千歳タウンプラザ 1F
10月22日(月) 本学 B101大講義室

特別講演

■10月21日(日) 13:10~14:40

「社会と産業のパラダイム変換
~技術・制度・文化が、ビジネスもまち
づくりも変える~(仮)」

NPO法人産学連携推進機構 理事長
妹尾 堅一郎氏



奨学金の寄付に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

寄付者ご芳名(平成30年4月1日から7月31日まで)

石田 稔 今井 敏郎 岩淵 誠 小川 美和 齊藤 良裕
成田 法子 本田 洋子 安田 昭弘 山崎 愛奈 敬称略

本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



編集 後記

軟式野球部の皆さん、春季大会3部リーグ優勝!続いて2部リーグへの昇格!おめでとうございます。日頃の練習の賜物ですね。上位リーグでの健闘を祈ります。そして、昆虫研究会も活躍中です。自然豊かな本学で、この春は敷地内に出没するスズメバチの目撃情報が多かったのですが、ハチによる事故防止のために捕獲用のトラップを作るなど、被害が出ないように活動してくれています。彼らの虫の知識にはいつも感心し、心強い限りです。本学には他にも、地域と結びつて様々な活動をしている部・サークルや教員らが大勢います。

次号でも彼らの活動や稜輝祭などをご紹介しますと思います。